

積水ハウスグループの持続可能性報告書 「サステナビリティレポート2017」発行 ～長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」を発表～

積水ハウス株式会社は、グループ経営上の重要事項である環境・CSRに関する取り組みをまとめた、持続可能性報告書「サステナビリティレポート2017(Sustainability Report 2017)」を発行しました。

本報告書において、環境・社会の価値を創造し、持続可能な社会へ先導することを目指して策定した、長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」を明記することにより、当社グループの長期的な価値実現に関心を持つステークホルダーとの共有を図ります。

- 1) 長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」を明記
- 2) 財務・非財務情報の関連性を「統合報告パート」で開示
- 3) CSV戦略（特定した六つのテーマ）ごとに実績の自己評価等を開示

「サステナビリティレポート2017」の特徴は以下の通りです。

- 1) 当社は2008年に住まいからのライフサイクルでCO2排出ゼロを目指す「2050年ビジョン」を宣言していますが、生態系破壊につながる森林破壊をゼロにする(Zero Deforestation)、社会インフラレベルでのゼロエミッション、住まいとコミュニティの豊かさの最大化といったより広範な項目を加え「サステナビリティビジョン2050」としました。本報告書P.17・18に明記しています。
- 2) 当社グループは「サステナビリティ」を経営の基本に位置づけており、事業の成果とCSRの成果は比例関係にあります。これを「価値創造のビジョンと戦略／統合報告パート」(P.05～21、特にP.12)で示しています。
- 3) 重点的に取り組む六つの「CSV戦略」を特定。テーマごとに、目指す姿や活動方針、2016年度の取り組み成果、目標に対する実績の自己評価などを開示しています(P.22～52)。



A4版カラー・全84ページ

なお、本レポートと同じ内容のPDFデータを以下URLよりダウンロード出来ます。

<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/download/index.html>

積水ハウスグループは、今後も環境・CSRに関する取り組み内容を積極的に開示し、ステークホルダーの皆様の期待に応えるとともに、持続可能な社会の構築に寄与してまいります。



【本件についてのお問合せ】 積水ハウス株式会社 広報部
(大阪) TEL 06-6440-3021 (東京) TEL 03-5575-1740
(本社) 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト



<「サステナビリティレポート2017」の主な掲載内容>

- 価値創造のビジョンと戦略／統合報告パート
 - ・ トップコミットメント
 - ・ 積水ハウスグループが創造してきた価値と自社取り組みとの関係を図示（財務・非財務の結合性）
 - ・ 積水ハウスグループ独自の強みを具体的な数値で表現
 - ・ 長期ビジョン・第4次中期経営計画・CSV戦略 等
- 積水ハウスグループのCSV戦略

CSV戦略		主な実績
①	住宅のネット・ゼロ・エネルギー化	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）「グリーンファースト ゼロ」比率が当社戸建請負住宅の70.4%※、1990年比CO2排出削減率80.1%
②	生物多様性の保全	「5本の樹」計画を開始した2001年からの累積植栽本数1306万本、木材調達レベルの高いS・Aランクの木材比率93%
③	技術開発・生産・施工品質の維持・向上	制震システム「シーカス」搭載率96% 空気環境配慮仕様「エアキス」搭載率87% 教育訓練センター・訓練校修了者累計2568人
④	アフターサポートの充実による住宅の長寿命化	お客様満足度調査での最高評価「非常に満足」の割合43.3% リフォーム事業売上高1334億円
⑤	ダイバーシティの推進と人材育成	グループ女性管理職141人（前年比27人増） 障がい者雇用率2.20% 男性育児休業取得者数436人・取得率70%
⑥	海外への事業展開	アメリカ、オーストラリア、中国、シンガポールの4カ国で、当社が培った強みを生かして事業展開。2016年度売上高は1821億円

※当社事業年度での実績値。一般社団法人環境共創イニシアチブに登録された「ZEHビルダー」として公開されている実績値「74%」とは集計期間・集計方法が異なります。

<https://sii.or.jp/zeh29/builder/search/>

<さらに詳しい情報をWEBサイトに掲示>



<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/>